

## Eエリアタンク(フランジ型タンク)の 残水から検出されたアルファ核種への対応 (続報)

< 参 考 資 料 >  
2021年10月18日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

- Eエリアタンクのフランジ型（組立型）タンクの解体作業の中で、D1タンク内の残水（2021年1月28日採取）のアルファ核種（全アルファ）の濃度が建屋内滞留水と同程度であることを確認しました。

<2021年7月8日お知らせ済み>

- 上記要因がタンク底部の残渣と推定し、水平調査として既設RO濃縮水等を貯留した履歴のあるタンク群について、水質分析を2021年10月から実施することとしました。

(STEP1) 既設ROの濃縮水を繰返し受入れているタンク群

(STEP2) 震災直後のRO濃縮水（濃縮塩水）・蒸発濃縮装置の濃縮廃液を貯留した履歴のあるタンク群

<2021年9月30日お知らせ済み>

- STEP1のタンク群について採水準備が整ったことから、本日（10月18日）から数日かけて採水を実施いたします。すべての採取した水の水質分析が終わり次第、結果をとりまとめて公表いたします。
- 今回の水質分析におけるアルファ核種の放射性物質濃度に応じて、適切な対応（当該タンク運用の変更・タンク内残渣の建屋への移送等）を検討・実施してまいります。

## <参考> 水質分析対象タンク群

廃炉・汚染水・処理水対策チーム会合/事務局会議  
(第144回) (2021年9月30日 資料抜粋\_加工)

- 建屋滞留水と同程度のアルファ核種検出は、タンク底部の残渣に起因したものと考えており、残渣発生の推定要因は、既設ROの凝集沈殿物もしくは、震災直後のRO濃縮水（濃縮塩水）・濃縮廃液と考えられる。
- その為、既設ROの濃縮水（ALPS処理前水）を繰返し受入れているタンク群及び震災直後のRO濃縮水（濃縮塩水）・蒸発濃縮装置の濃縮廃液を貯留した履歴のあるタンク群について、2021年10月からSTEP1の水質分析を行う予定。順次STEP2についても水質分析を行う予定。

### <既設ROの濃縮水を繰返し受入れているタンク群> (STEP1)

| 対象タンク群 |        | 内容   |
|--------|--------|--|
| ①      | H8-A群  | RO濃縮水（ALPS処理前水）の運用タンク（現在）<br>EエリアD1・D2タンクの残水の受入れ |
| ②      | H8-B群  | RO濃縮水（ALPS処理前水）の運用タンク（過去）                        |
| ③      | D-B,C群 | RO濃縮水（ALPS処理前水）の運用タンク（現在）                        |

### <震災直後のRO濃縮水（濃縮塩水）・蒸発濃縮装置の濃縮廃液を貯留した履歴のあるタンク群> (STEP2)

| 対象タンク群 |                    | 内容  |
|--------|--------------------|---|
| ④      | J1-A,C,G群<br>G3-D群 | 震災直後のRO濃縮水（濃縮塩水）⇒RO濃縮水（ALPS処理前水）⇒ALPS処理水等 |
| ⑤      | D-A群<br>H2<br>C    | 震災直後に運用していた蒸発濃縮装置の濃縮廃液を貯留                 |